

2016年 第1回 Chapter Operations Committee Meeting 議事録

1. 日時：2016年6月8日（水） 14:00～16:05
2. 場所：機械振興会館 地下3階 研修1
3. 出席者：
 - ・ Chapter Operations Committee : Chair 杉山 昭彦, Vice Chair 藤島 実, Secretary 市毛 弘一
 - ・ Japan Council : Secretary 原崎 秀信, Treasurer 藤代 博記
 - ・ 仙台支部 Chap. Promo. Comm. Chair: 川又 政征, 東京支部 Chap. Operations Comm. Chair : 前田 英作, 関西支部 Chap. Operations Comm. Chair : 梶川 嘉延, 広島支部 Chap. Promo. Comm. Chair : 李 仕剛 (代理: 山之上 卓), 四国支部 Chap. Promo. Comm. Chair : 西尾 芳文
 - ・ Chapter Chairs: 58名 (Japan Office, 代理を含む), 事務局 4名

5. 議事

(0) 資料確認

資料 18-20 ページは、15-17 ページの内容と重複しているので削除する。

(1) 議事録確認

資料(1)「2015年第2回 Chapter Operations Committee Meeting 議事録(案)」に基づいて杉山 Chair より説明があり、前回 Meeting の議事録が承認された。

(2) IEEE Japan Council 関係

2-1 2016年第1回理事会報告

- ・ 原崎 JC Secretary より、資料(2-1)「2016年第1回 IEEE Japan Council 理事会議事録」に基づき、理事会での審議事項に関する説明があった。
 - 円高傾向にあったため予算を修正した。Chapter 支援費は400万円に修正。また、Chapter 支援費の上限を10万円に引き上げたことを報告した。
 - 来年3月4～5日頃に、IEEE R10 meeting を幕張で開催予定。
 - National society agreement が改訂された。

(3) Chapter Operations Committee 関係

3-1 Chapter Operations Committee 2015 年度活動報告と 2016 年度の活動計画

- ・ 杉山 Chair より、資料(3-1)「Chapter Operations Committee 2015 年度活動報告と 2016 年度の活動計画」に基づいて、今年度の活動と来年度の計画に関する報告があった。
 - IEEE のルールに準拠して、Chapter 支援費の申請における確証(領収書)の提出を厳格化して、既に実施していることが報告された。
 - Award 登録, Chapter 支援の申請書は最新のものを使用すること、Chapter 支援費の上限を 10 万円に引き上げ、事務手数料を支援費に含めることを許容したことが再確認された。

3-2 2016 年度の Chapter 支援費予算と支援ガイド等について

3-2-1 2016 年度の Chapter 支援費予算と基本計画

3-2-2 Chapter 支援の考え方と運用に関する留意点

3-2-3 Chapter 主催 AWARD に関するガイドライン

- ・ 杉山 Chair より、資料(3-2-1)「2016 年度の Chapter 支援費予算と支援の基本方針」、資料(3-2-2)「Chapter 支援の考え方とその運用に関する留意点」、資料(3-2-3)「Chapter 主催 Award に関するガイドライン」に基づいて、Chapter 支援費予算と支援ガイドに関する報告があった。
 - 36 ページの項目 D について補足説明があった。対象者の所属が chapter の範囲外であっても受賞者とする可とする。また、特例として、国内開催の国際会議などにおいては、海外の IEEE 会員も受賞者にすることができる。

3-3 JC Chapter の Section 傘下への移行について

- ・ 杉山 Chair より、資料(3-3-1)「Chapter 移行状況」に基づき、移行状況に関する説明があった。その後、未申請の 4Chapter の状況を確認した。
 - ED-15：5月16日に事務局から問い合わせたが返信なし。状況を確認のうえ、今週中に事務局に回答する。
 - SIT-30：欠席。事務局から電話して確認する。
 - MAG-33 福岡：広島・福岡 Joint Section を作る予定だったが、その後連絡なし。作らない予定と思われる。
(MAG-33 Tokyo から補足) 準備だけはして、申請する段階で止まっている。
(杉山 Chair から補足) Section がない地域、たとえば九州での講演会を Tokyo が引き受けて支援申請を行うことは可能である。ただし現状は困るので、6月末までに検討して報告をお願いしたい。

(MAG-33 Tokyo から回答) 持ち帰って検討する.

- IA-34: 欠席. 事務局から電話して確認する.

3-4 MOU 締結と共催等の承認に関する手続きの進め方 (2015 年度改版)

- ・ 東京支部 COC の前田 Chair より、資料 (3-4-1) 「MOU 締結と共催等の承認に関する手続きの進め方 (2015 年度改版)」の説明がなされた。
 - この内容で JC 理事会で承認をもらう予定なので、ご了承いただきたいとの説明がなされた.

3-5 Chapter ホームページの運用状況

- ・ 市毛 Secretary より、資料(3-6)「Chapter のホームページの運用状況」について、資料の説明がなされた。
 - 長期間, 更新されていないとして名前が挙がっている Chapter は, 確認のうえ更新をお願いしたい.
 - DEI-32 Fukuoka 現在は存在していないとの指摘があった. 関係者で協議して対応をお願いしたい.
 - CAS-04 Fukuoka のホームページは, 2016 年 1 月に更新されているとの指摘があった. 藤島 Vice Chair が確認したところ, ホームページが新旧 2 つ存在していて, 2015 年更新は古いサイト, 今年 1 月更新は新しいサイトであった. 古いサイトの情報は削除して, 新しいサイトへの誘導をお願いしたい.

3-6 Chapter 活動におけるメール配信ルール

- ・ 杉山 Chair より、資料(3-6)「Chapter 活動におけるメール配信ルール」について、資料の説明がなされた.

3-7 Chapter reference manual

- ・ 杉山 Chair および事務局より、資料(3-7)「Chapter reference manual」について、資料の説明がなされた.

(4) その他報告

なし

(5) 各 Chapter の活動報告

- ・ 時間の都合で、各 Chapter からの報告は割愛した (6 月 7 日に事務局からメール配信された「Chapter 活動報告 (2015 年 12 月～2016 年 5 月)」)

を参照のこと)。

(6) その他報告

6-2 支部別 Society 会員数の推移

- ・ 杉山 Chair より、資料(6-2)「Society 別・支部別会員数」の説明がなされた。
 - この資料の会員数をもとに Award 授与数の上限が決まるので、確認をお願いしたい。

6-3 IEEE Japan Council の web/mail サーバ移行について

- ・ 原崎 JC Secretary より、資料(6-3)「IEEE Japan Council の web/mail サーバ移行について」の説明がなされた。
 - https に対応したことが報告された。
 - 定期的にバックアップをとっているが、念のため各 Chapter でもバックアップをとってほしいとの依頼があった

以上